

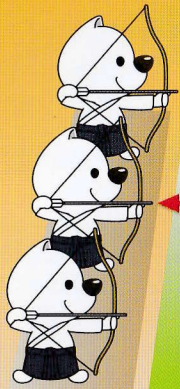
弓道とは...

古くから狩りや戦いの道具であった弓矢ですが、江戸時代になると武士の心身鍛錬の手段として弓術が発達し、近年になり日本独自の文化として弓道と呼ばれるようになりました。

弓には照準器などは付いておらず、自分の身体と精神力(集中力)で正確に的を射ることが求められます。

現在では、自分の体力に合った強さの弓を使い、スポーツ、健康体育の面からも発展し、小学生からお年寄りまで男女を問わず、幅広い人たちに愛好されています。国体では全国から選ばれた選手が研ぎ澄まされた技を競う姿をご覧ください。

近的競技



28m



射場

あづち

1チーム3名

28m離れた位置から直径36cmの的をねらい、あたりの矢の数を競い、あたりの数の多いチームが勝ちになります。

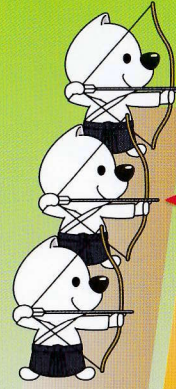
どこにあたって同じ



的中数

10			
3	3	4	
○	×	○	4本目
○	○	○	3本目
○	○	○	2本目
×	○	○	1本目
3番立	2番立	1番立	

遠的競技



60m

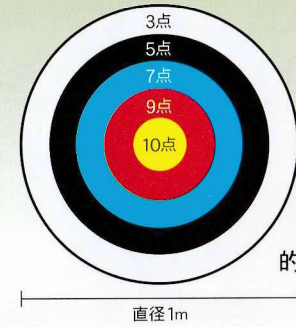


射場

あづち

1チーム3名

60m離れた位置から直径1mの的をねらい、色分けした的のあたった場所により点数が決まり、得点の合計が多いチームが勝ちになります。



合計点

76			
21	24	31	
10	9	7	4本目
5	5	5	3本目
3	3	9	2本目
3	7	10	1本目
3番立	2番立	1番立	

観戦方法(マナー)

- 矢が的にあたったときは、拍手や「よし」の掛け声で声援を送ってください。
- フラッシュ撮影はおやめください。
- 携帯電話は、マナーモードに切り替えてください。

射法八節(弓道八節)

射の基本動作

